



あやめ



with「感謝」「尊敬」
文責：生徒指導主事 櫻本直弘

快晴の空のもと 強歩大会実施

11月13日(水)、11月とは思えない暖かな陽気のもと、最高のコンディションのなかで櫛形中学校強歩大会が行われました。開会式では、笹本校長先生から「自分自身と、あるいは隣の仲間でもよいが、各自が『勝負する』ということにこだわって欲しい」とのお話をいただき、山田PTA会長様からも温かな励ましのお言葉をいただきました。選手宣誓では昨年度男女優勝選手である3年生の鴨作さん・長澤さんが「感謝の気持ちをもって走りきる」決意を誓ってくれました。

8時50分に櫛形陸上競技場を全校一斉にスタートし、約17kmのコースをそれぞれのペースで走り出しました。お手伝いいただいた保護者の方々を中心に、沿道からのたくさんの応援を受けながら、みんな真剣に走っていました。1年生にとっては、まさに「未知への挑戦」だったと思います。初めての17km、コースはアップ・ダウンがあり、かなりキツイと感じる生徒が多かったのではないのでしょうか。2年生は、2回目という経験値や日々の部活動で体力もついてきていることから、自分の走りができた生徒もたくさんいたのではないのでしょうか。3年生にとっては、「最後」の強歩大会ということで、3年間の自分を振り返りながら走っていたことと思います。

長い距離を走るということは、肉体的にも精神的にも大変苦しいことだと思います。辛くて途中で立ち止まりたいと思ったことや、「何でこんなに長い距離を走らなければならないのか」と思った生徒もいたかもしれません。また、長い距離を走ることは、よく「人生」にも例えられます。人生は山あり谷ありで、良いときもあれば、悪いときもある。当然、自分に負けそうになるときもあります。そんな時、自分と闘いながら、前を向いて一歩ずつ進んでいけるような「強い心」が、この「強歩大会」には求められているのではないのでしょうか。長い人生の中で、困難に直面した時にも、弱い心に負けることなく、あきらめずに最後まで頑張ることの大切さを、この「強歩大会」から体得して欲しいと思います。

なお、結果につきましては、選手宣誓を行った鴨作さん・長澤さんが、男女ともに大会新記録での優勝ということで見事連覇を果たしました。おめでとうございます。

保護者の皆様には、今回も多くの方々に「協力員」として、生徒の安全確保をしていただくとともに、温かい声援をしていただき、誠にありがとうございました。生徒たちにとっても大きな励みになりました。また、今回も南アルプス警察署の方々や交通安全協会の方々のご協力、ご指導のおかげで、大きなケガや事故等がなく、無事に強歩大会を終えることができました。今後も保護者の皆様、地域の方々には、櫛形中学校の教育活動にご理解とご支援、ご協力をお願いします。





県新人大会結果報告 その2

・女子卓球部 県新人大会 ベスト8

※大会日程の都合上、前号(第11号)で紹介できませんでしたので今回改めて掲載させていただきました。

※県大会個人成績は割愛しました。